



志木中だより

5月号 令和3年5月6日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『志木中学校ブランド』

依然として続く新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月28日より5月11日までの期間、適用地域として「まん延防止等重点措置」の発令がされましたが、教育活動の一部自粛要請に基づく措置も含まれており、更なる衛生管理や感染対策の徹底等の条件を付して、一定の制約条件のもとに、教育活動を進めて参りますことに、保護者の皆さまには、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. いつまでも本物志向で・・・

ところで、入学、進級してから既にか月が経ち、各学年の様子は、それぞれの学年の自覚とこの一年頑張ろうという決意を感じさせています。3年生は3年生らしく引き締めつつ、2年生は先輩になった誇りを持ち、1年生は新たな決意をもって臨んでいる様子が伺えます。これまでも、また、これからも志木中学校が増々地域から信頼され、子供たち一人一人が光り輝けるように、教職員一同、努力を惜みず「志木中学校ブランド」と言われるような学校にしていきたいと考えているところです。

さて、自分自身を見つめ直した時、「本物志向」「偽物志向」と分けるとすれば、一体自分は、どんな志向を持っているのでしょうか。自分自身が抱いている将来の夢や想い、そして志向はあまり変わらないものかと思っているところですが、そのことを物に例えた時、本物と偽物の大きな違いとは、本物は消費者が使い込めば使い込むほど味がでできますし長持ちもしますが、偽物は消費者の手に渡ったとたんに古くなってしまい長く使うことが難しくなってしまいます。このことを学校生活の中にいる自分自身に置き換えて考えてみると、本物の志木中生、本物の上級生としての自覚と責任をしっかりと持って、是非、有意義な学校生活を送ってもらいたいと思います。

2. ブランドの持つ力・・・

生徒たちがこれまで築いてきた信用と信頼には大きなものがあります。それは卒業生をはじめ、在校一人一人が様々な場面で活躍している、または頑張っているという話をたびたび耳にする時、さらには近隣、保護者などから生徒のよい評判を聞いた時など、志木中学校のブランド力が大いに高まっていること痛感します。学校のブランドとは、信用と信頼の上に脈々とつながっていくものと考えています。

「私、実は志木中の卒業生なのです」「志木中の生徒が活躍してますね・・・」など、現在様々な課題が山積い中であっても、胸を張って「志木中学校です」と言って頂けるような学校の持つBrand力を一層高めていきたいと思っています。